



大戸川ダム検証の勉強会を立ち上げる三日月県政 ダムに頼らない流域治水政策を放棄！

4月招集会議(4/25)

4月25日におこなわれた招集会議で、大戸川ダム検証のための勉強会の補正予算(3400万円余)が提案されました。日本共産党以外の賛成で可決されました。



質問するふしき県議

昨年11月議会で、「大戸川ダムの建設『凍結』の2008年の4府県知事合意の撤回を求める決議」が自民・公明などの賛成で可決されました。補正予算(3400万円余)は、5月からおこなう大戸川ダム検証の勉強会のため、6月の知事選挙を前に自民党の要望にこたえたものです。

ふしきみちよ県議は、質疑で「(国が計画する)ダムの検証は国にゆだねるべき。勉強会はダムに頼らない流域治水政策を放棄するものだ」と指摘しました。環境影響評価もない勉強会は、まさにダム建設ありきといわなければなりません。

杉本敏隆県議は討論で「ダムに貯水して洪水調整をするダム頼みの治水政策のありかたを根本的に見直し、堤防強化などで流域全体での治水政策にあらためるべき」と述べ、日本共産党は反対しました。

県税条例に戦争法反映

県税条例の一部を「改正」する条例の専決処分の承認を求める議案で、日本共産党は「安保関連法(戦争法)の規定によって、軽油を譲渡する場合、自衛隊の船舶の使用者に、軽油引取税を課さないとしていることは問題」とし、「安保関連法は、日本の国の『平和』とも、国民の『安全』ともまったく無縁のもので、米国が世界で行う戦争にさいして、いつでも、どこでも、どんな戦争でも、日本の自衛隊が参戦・支援するための戦争法である」と指摘し、廃案を強く求め、反対しました。

所属委員会が決まりました。

- 節木 三千代 県民生活・土木交通常任委員会
行財政・働き方改革特別委員会。
議会運営委員会(オブザーバー)
- 杉本 敏隆 環境・農水常任委員会 副委員長
琵琶湖対策特別委員会
- 藤井 三恵子 厚生・産業常任委員会
スポーツ振興対策特別委員会

議会の民主化提案

日本共産党滋賀県議会議員団は、招集会議に先立って、議会人事については、憲政の常道の立場に立ったうえで、議長第1会派、副議長第2会派、監査委員は議員平等の原則にもとづいて基準を設定すること、質問時間は、議員の発言時間を保障するために、現在の一般質問、1人年間120分以内を見直して増やすこと、政務活動費は、収支報告書・領収書等をホームページ公開し、透明化をはかること、政務活動費での海外視察はおこなわないこと、請願及び陳情について、請願者及び陳情者の意見を述べる機会を設けることなど8項目にわたって提案しました。議長・副議長・監査の3役は4年連続して自民党が独占するという横暴さです。引き続き議会の民主的改善を求めていきます。

だれもが払える国保料に！国保料の引き上げになる統一化は撤回を！

みちよの
かけ歩き(記)

4月28日におこなわれた「だれもが払える国保料を求めるつどい」では、国民健康保険について課題と今後の取り組みについて話し合われました。

4月から始まった国保の都道府県単位化で、滋賀県は全国に先駆けて、地域の実情を考慮しない国保料統一の方針を示しています。大津市では、所得200万円(夫婦2人子ども1人)で5.1%の大幅な値上げ(18,038円)を検討しています。私は、「国庫負担を増やすこと。統一化は撤回すること。県が補助して、払える国保料にすべき。500億円もの国体関係費を見直せば財源はある」と話しました。社会保障としての国保を守るため力を合わせてがんばります。(ふしき)



生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3~5時まで

場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2018年5月8日 発行：ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334
メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索